

答 ①国土交通大臣による指定基準が定められ、変更はかなり難しい。示された区間は県管理なので、整備を県に

《荒木勝美》

市民アンケート調査について

問 第1次総社市総合計画後期基本計画（平成23年度～27年度）の策定にあたり、その基本資料とする今回のアンケート調査について、従来の調査と違う点、結果の分析、計画への活用、特に注目した点は何か。

答 変わった点は中高生の意見を聞いたことで、将来像を福祉都市と望む声が多かった。なかでも高齢者福祉に対しては施設、在宅ケアという課題を含め、ひとつひとつ合わせ技でやっていく。改善度が高かったものを優先的に施策に取り入れていくべきと考

働きかけていきたい。②弱音を吐いてはだめだとゲキをいただいた。精一杯努力していきたい。（副市長）

（市長）

西部地域の開発計画について

問 ①土地利用計画を後期基本計画に入れることはできないか。
②市営墓地を造成する計画はないか。
③農業集落排水事業のない区域における下水処理をどのように考えているか。
④西公民館久代分館の建設計画はどうか。

答 ①後期計画の中に盛り込むのが必須条件。西部地区は産業、住宅も増やして発展させていくべきである。
②地元住民の同意を得たうえで、適地があれば予算化していけば良いと思う。

ごみ対策について

問 ①ごみ袋半額のこの時期に「子育て王国」として、2歳以下の子どもをもつ家庭にごみ袋を無償配布してはどうか。
②ごみ減量、再利用、高齢者対策として電気生ごみ処理機の補助をしてはどうか。



答 ①ごみ袋の値下げは政策の分かりやすさで半額とした。特例を設けてごみ袋を無償配布したら不公平感が出るので、考えていない。
②ごみ減量が緊急の課題なの

③美袋の特定環境保全公共下水道が終了した時点で西部地区と考えている。（市長）
④平成23年度調査、24年度土地購入、設計、造成等を進めたい。（教育長）

福祉行政について

問 子どもの命を守るために重症感染症の予防に効果のあるHibワクチンに3千円でも助成できないか、また肺炎球菌ワクチン接種にも公費



感染症予防に効果がある Hib ワクチン

で、電気生ごみ処理機に補助金を出したい。（市長）

《松浦政利》

財源の確保について

問 ①何をすることも多くの財源が必要。収入の主なものは、市税、補助金、地方交付税があり、自主財源となる市税の増収を図る必要があるが、市長の考えが聞きたい。
②企業誘致についてユニチカから返還された土地を、市が無条件に使えるようユニチカと交渉すべきではないか。

答 ①税収の増額については、企業誘致が一番大きな方策だと考える。平成15年度以降の7年間で主な企業7社を誘致しているが、これらの税収は9億2千万円である。企業誘致については、土地が非常に重要になってくる。
②ユニチカの土地については、ユニチカ本社に出向き、社長

助成ができないか。

答 ワクチンの重要性も効果も理解できるが、予算的に無理がある。今年度から支給されている子ども手当を利用して接種をしてほしい。また、ワクチンの啓発にはさらに努力をしたい。（市長）

教育行政について

問 現在本市において不登校問題は大変重要な問題である。具体的な対策はどうか。また、小学校から中学校に進学したときに環境に順応できないことから、学力低下や不登校になるケースもある「中1ギャップ」対策として教員の加配がある。本市としてこの点はどのように対応しているか。

答 本市の不登校児・生徒の出現率は全国平均よりやや高い。ふれあい教室・適応指導教室・スクールカウンセラー配置事業などの対応をして

から自由な活用について快諾をいただいている。（市長）

子育て王国の実現について

問 ①子育ては将来、本市を担っていく大切な子どものことであり、思い切った金をかけなくてはいけないと思うがどうか。
②幼保一体化は、新聞によると国が「幼児保育の転換」と位置づけて着々と検討されており、時期が早まると思うが、その準備はできているか。

答 ①予算については王国とはいえないが、子育ては心や地域の協働などの合わせ技です。子育て王国そうじゃは全国に誇れるレベルになりつつある。
②幼稚園の時間延長については、今年2園で実施しているが、すべての園での実施ができればと思っている。（市長）